

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	19-2																																							
PDCA	主要事業名	がん検診等推進事業	部課名	福祉部健康課	担当 内線	天野 357																																								
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 2 - 1 単位施策： 健康づくり 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 67,476 千円 会計 一般会計 歳出科目： 04.01.01.04.50																																													
	事業概要等	事業概要： 健康増進法に基づき、健康の保持、がんの早期発見及び早期治療を目的に、各種がん検診を実施する。																																												
		事業目的： がん検診を実施し、がんの早期発見・早期治療により健康寿命の延伸を図る。																																												
		事業内容： 対象年齢の市民に対し市内医療機関において22項目のがん検診を実施するとともに、受診勧奨を実施し、受診率向上を図る。																																												
		問題点： 課題等： がん検診受診率のさらなる向上。																																												
	予算額	主要事業とする理由																																												
	67,476 千円	検診の受診により、がんの早期発見・早期治療が可能となり、市民の健康寿命の延伸を図ることができるため。																																												
	財源内訳	得られる成果																																												
	市費 65,460 千円	公費助成を行うことで、受診意欲を高め、がんの早期発見、早期治療につなげることができる。																																												
	国費 765 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">胃がん検診受診率</td> <td>実績値</td> <td>7.5</td> <td>7.3</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>8.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">乳がん検診（マンモグラフィ）受診率 ※2年分受診率</td> <td>実績値</td> <td>17.4</td> <td>18.3</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>20.0</td> <td>20.0</td> <td>20.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	胃がん検診受診率	実績値	7.5	7.3	—	%	目標値	—	—	8.0	%	乳がん検診（マンモグラフィ）受診率 ※2年分受診率	実績値	17.4	18.3	—	%	目標値	20.0	20.0	20.0	%	その他	実績値					目標値				
	目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																																								
	胃がん検診受診率	実績値	7.5	7.3	—	%																																								
		目標値	—	—	8.0	%																																								
	乳がん検診（マンモグラフィ）受診率 ※2年分受診率	実績値	17.4	18.3	—	%																																								
		目標値	20.0	20.0	20.0	%																																								
その他	実績値																																													
	目標値																																													
県費 1,251 千円																																														
0 千円																																														
D 実績値 得られた成果と	決算額	得られた成果																																												
	62,382 千円	日本人のがん死亡率上位となっている胃がん、乳がんの検診受診率の向上を目指し、胃がん検診及び乳がん検診に対し、公費助成を行うことで受診意欲を高め、がんの早期発見、早期治療につなげることができた。																																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">胃がん検診受診率</td> <td>実績値</td> <td>6.8</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>8.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">乳がん検診（マンモグラフィ）受診率 ※2年分受診率</td> <td>実績値</td> <td>18.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>20.0</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>						成果指標		令和5年度	単位	胃がん検診受診率	実績値	6.8	%	目標値	8.0	%	乳がん検診（マンモグラフィ）受診率 ※2年分受診率	実績値	18.0	%	目標値	20.0	%																					
	成果指標		令和5年度	単位																																										
	胃がん検診受診率	実績値	6.8	%																																										
		目標値	8.0	%																																										
	乳がん検診（マンモグラフィ）受診率 ※2年分受診率	実績値	18.0	%																																										
		目標値	20.0	%																																										
C 課題の整理	事業の評価・課題	C - 胃がん検診では、市民ニーズに合わせ、胃内視鏡検査を新たに導入した。しかし、検診機関が個別医療機関に限定されることやセット検診の導入ができなかったこと及び自己負担額が高額のため、受診率の向上には至らなかった。 - 乳がん検診の受診率は、目標を達成することはできなかったものの、無料クーポン未使用者に対し、ナッジ理論を用いて効果的な個別勧奨を行うとともに、勧奨はがきをクーポン券に代用し受診を可能としたことにより、無料クーポン対象者の受診率を向上することができた。 5大がん（肺・大腸・胃・乳・子宮頸）検診の個別勧奨及び乳がん、子宮頸がん無料クーポン未使用者に対し受診勧奨を実施したことにより受診促進につながった。																																												
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	改善推進 - 胃がん検診において、胃内視鏡検査の検診機関の増加、セット検診の導入及び自己負担金の見直しを検討する。 - がん検診の受診勧奨について、ナッジ理論を活用したチラシやポスターを作成する。 - 企業との連携協定を活用し、企業の顧客へチラシの配布等による事業周知及び受診勧奨を実施する。																																												
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																								
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 減余地	大きい	ない																																								
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地	ない	ない																																								
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない																																												

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用